

Letter from P_CARE

2024year vol.1

当園では、子どもたちの健やかな成長を願いつつ、保護者の方々がお仕事・産前産後の安静・研修等がある日常で、少しでも安心して生活を送っていただけるように、2007年より専属の看護師と保育士を配置して病後児保育を展開してまいりました。また、地域貢献という観点から、矢板市を基点として広域であるさくら市・塩谷町・高根沢町のお子様もお預かりしているところでもあります。

今年度もげんきの「氣」を♡letterとして心を含め、より多くの方々が健康的に過ごせますようにと、病後児保育室だより(♡letter from P_care)を発行してその情報を役立てていただき、地域全体が一緒になって子どもたちを幸せにしていこうという「おもい」がよりいっぱい広がってくれればと願っております。

園長 山中 悟

病後児保育のご案内

♡対象となるお子さま

矢板市内または広域連携市町(さくら市・高根沢町・塩谷町)に居住しているか、市内の保育所等に入所している乳幼児及び市内小学校に在籍する児童で、次の要件をすべて満たす方

- ※ 病気の回復期のため集団生活が困難なお子さまであり、保護者が就労等の事情により、家庭での保育ができない方
- ※ 医師が病後児保育と認めたお子さま

♡ご利用の主な流れ

- ① 病院受診→現症連絡票が発行されます(手数料は病院によって異なりますがおおよそ200円~500円程度です)
- ② 子ども課へ書類提出(利用前日午後5時まで)
急を要する場合は直接保育園にご連絡ください
- ③ 手続き終了後保育園に電話→必要事項をお伝えします
- ④ 当日朝お子さまをお預かり(必要書類・荷物等)
- ⑤ お迎え(1日の様子をお伝えします)
- ⑥ お会計(生活保護及び市民税非課税世帯は無料
その他の世帯は1000円)

♡ご利用にあたってのお願い

- ・保育中のお子さまの病状悪化等で当施設からの連絡がある場合には利用途中であっても保護者様のお迎えをお願いする時があります
- ・緊急を要する場合には、当施設の判断で保護者の了解を待たずに医療機関に搬送させて頂くことがあります(その際発生する医療費等は、保護者様のご負担となります)

Team Doctor 桃谷先生の ワンポイントアドバイス

(当園保育士・看護師とのカンファレンスより)

「溶連菌感染症について」

A群溶血性連鎖球菌という細菌の感染が原因で起こる病気です。主な感染経路は飛沫感染・接触感染で感染力が強くお子様から大人へ感染する可能性もあります。症状としては2~5日の潜伏期間の後、突然38度以上の発熱・全身倦怠感・のどの痛みなどが現れます。風邪と違って鼻水や咳が出ないのも特徴です。舌にいちごのようなぶつぶつ(いちご舌)や全身にかゆみを伴う赤い発疹が出ることもあります。

治療は抗生剤を内服します。内服すれば2~3日ほどで症状は落ち着きますが、処方された薬は途中で止めず最後まで飲み切るようにします。治療が遅れると様々な合併症を引き起こす可能性があります。

大人も適切な治療を受けることが大切です。まれに傷口から溶連菌が入って全身に広がり、「劇症型溶連菌」となり、手足の壊死や多臓器不全で死にいたる恐れがあります。溶連菌感染症を疑う症状がみられた際には医療機関の受診をおすすめします。

♡ご助言 宇都宮市インターパーク 小児科・内科
ももやこどもクリニック院長 桃谷 孝之